

～ReAxis Academy～

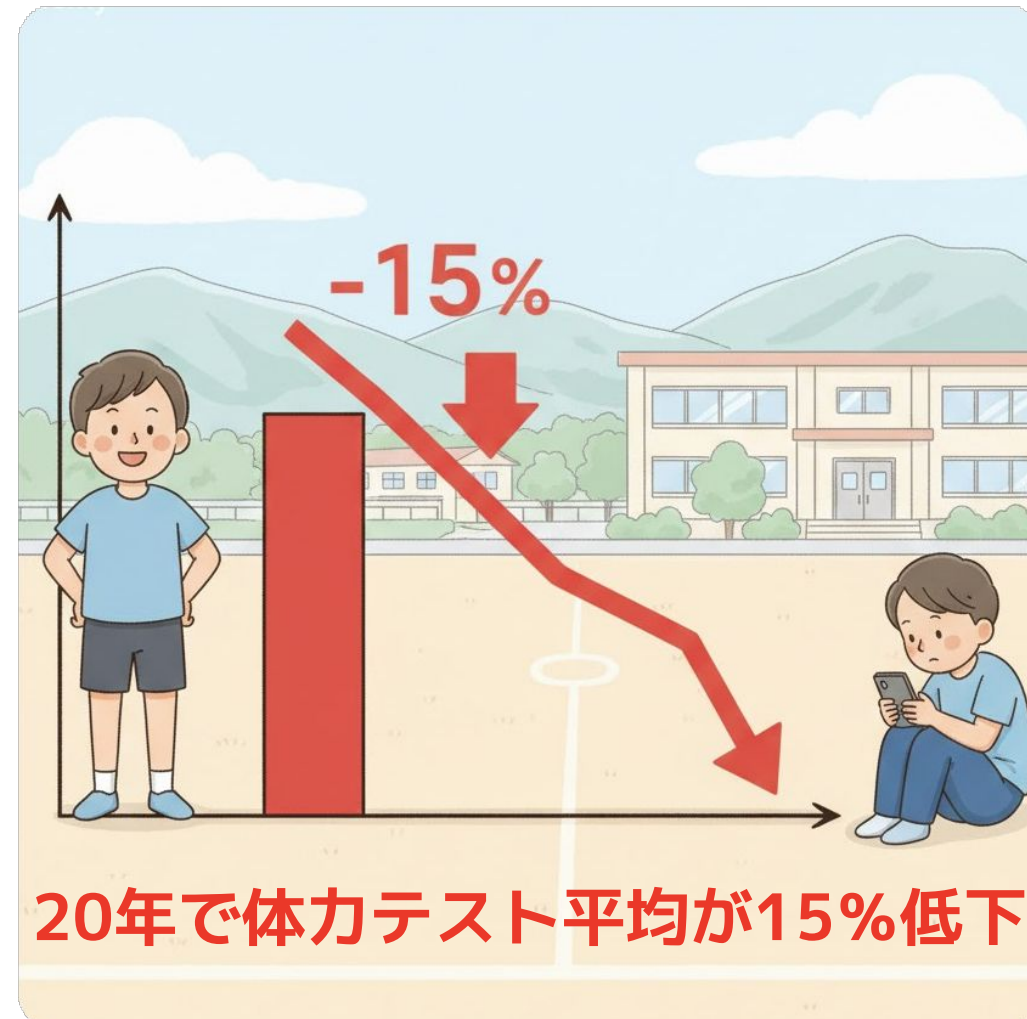
体軸で育む 次世代の「生きる力」

- 体軸 × スラックライン -

- 茨城発の次世代教育 × 健康モデル -

株式会社 NEXUS
代表取締役 梅原博

01 社会課題：日本の子どもたちの「身体の軸」の喪失



-15%

子ども体力テスト平均
(20年間の推移)

子どもの体力テスト平均（2000年比）
出典：スポーツ庁「令和5年度 体力・運動能力調査」



70%

姿勢不良の小学生割合

姿勢不良の小学生割合
出典：東京大学大学院（2021）／神奈川県教育委員会（2022）



数千億円

集中力低下による経済損失
(推計)

集中力低下が将来の生産性に及ぼす損失
出典：経済産業省「健康経営と生産性」調査（2018-2023）

02 地方創生の課題



- 地方における“運動機会不足”は深刻化
- 公園の老朽化（危険箇所・遊具撤去）
- 体育館利用が抽選制、部活動は縮小
- 親は忙しく「運動の伴走者」がいない
- 子どもの遊びが ICT に置き換わりつつある
- 地域コミュニティは希薄になり、交流機会が不足



▶ ReAxis Academyが解決できる「地域課題の本質」

03 ソリューション：体軸 × スラックライン

遊びを科学する「体軸再構築」プラットフォーム



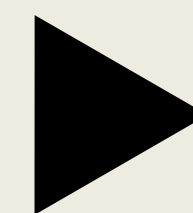
- Slackline
(集中力・バランス感覚・コミュニケーション能力)
- 体軸理論
(姿勢・体幹・筋出力の最適化)

→ “遊びながら健康になる” を科学的に実現

04 強み：唯一無二のハイブリッドモデル

他では絶対に真似できない5つの要素



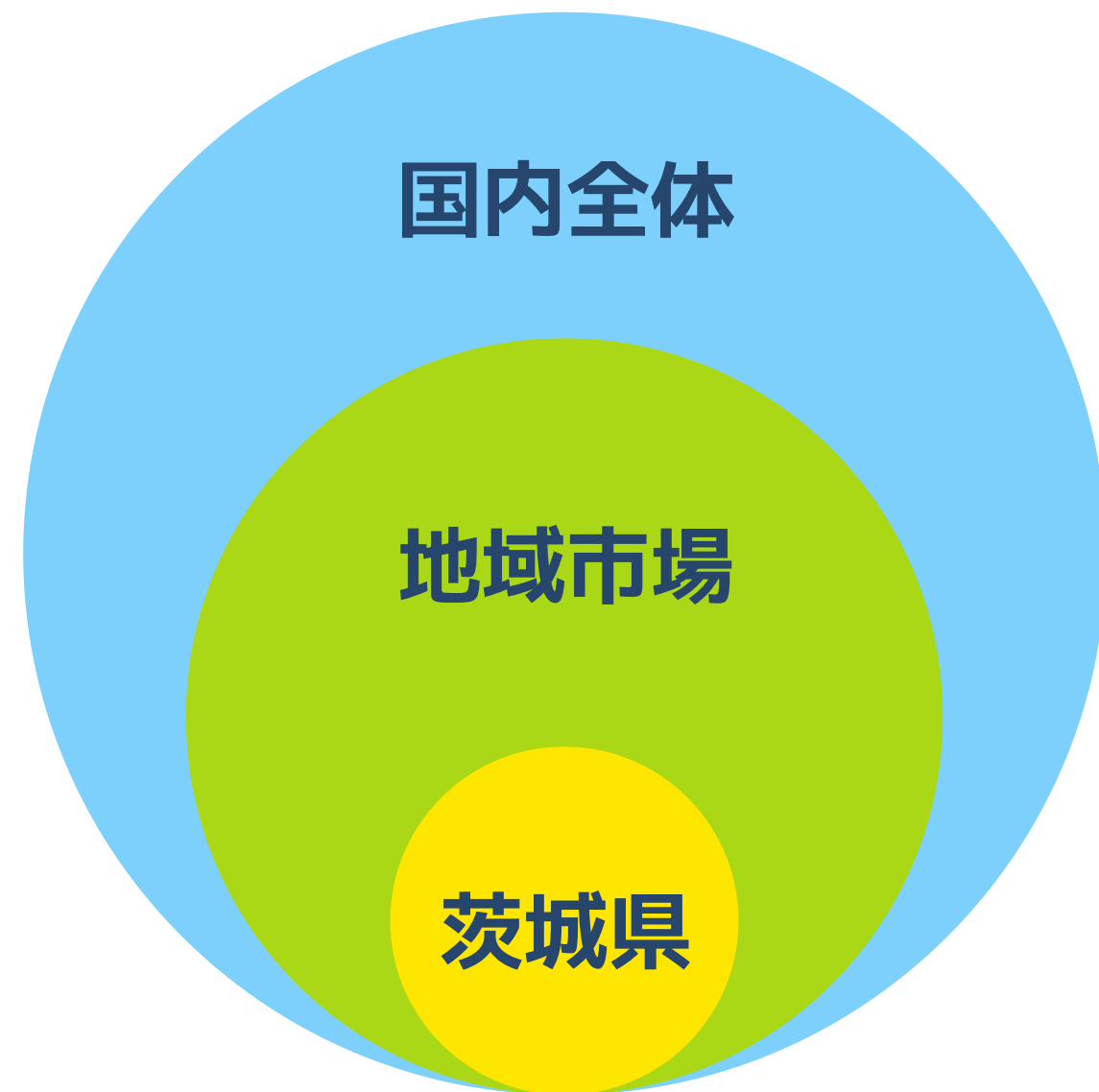


動画再生



- 自己効力感を刺激
- 企業の広告効果

05 市場性（茨城県→地域市場→国内全体）



教育 × 健康 × 行政 × スポーツが重なる
拡張性の高い市場

国内全体：3～10兆円

TAM：教育産業＋健康産業＋スポーツ市場の合算（国内）

地域市場：5000億円

SAM：そのうち「体験型教育・運動プログラム」領域

茨城県：5～10億円

SOM：茨城県内の導入可能施設数 × 年間単価 で算出した概算

→ 子ども・大人・高齢者・企業・行政へ横展開可能

→ 公共施設の空き時間を活用可能

出典：経産省「スポーツ産業の市場規模」
／文科省「体験活動推進」より概算

06 実績

初期の成功データ



100%

幼稚園リピート率



5校

小学校

ゲストティーチャー実施



+15%

中学陸上部の記録改善

行政イベント・民間フェスでも高評価

▶ データで証明された「再現性のある効果」

07 競合優位性（差別化）

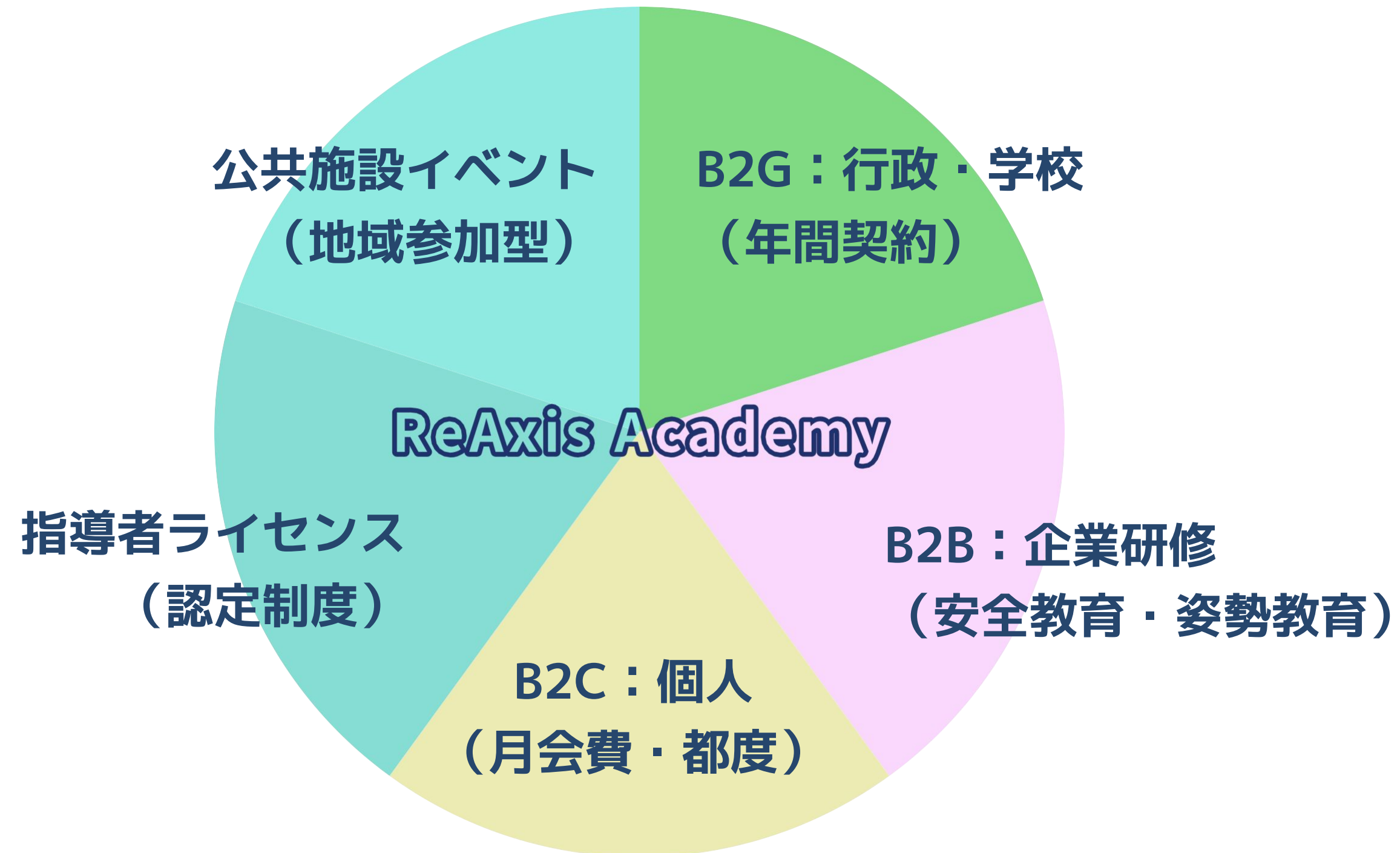
- 他の運動教室・療育・スポーツとは 決定的に違う“5つの軸”

項目	体操教室 （一般）	スポーツスクール （競技系）	療育 （発達支援）	ReAxis
健康効果（姿勢・集中）	△	△	○	◎
対象市場の広さ（年齢幅）	狭い	狭い	中	広い
導入のしやすさ（場所・設備）	△	○	△	◎
安全性（怪我など）	△	△	◎	◎
再現性（指導体系）	△	○	△	◎

▶ 姿勢・安全性・年齢幅・教育体系の全てで、ReAxis が頭ひとつ抜けています。

08 ビジネスモデル

多層構造で安定的に収益化できるモデル



→ 収益源が分散し、景気変動に強い構造

09 収益モデル

不安材料を無くす “明確な数字”



スクール事業

月謝: 8,000～12,000円



学校・行政(出張)

1回: 30,000～60,000円

イベント・講座(地域 × 企業)

年間: 200～300万円
初年度ライン



インストラクター制度

受講料: 3～30万円

ロイヤリティ: 月 10%



物販・教材販売

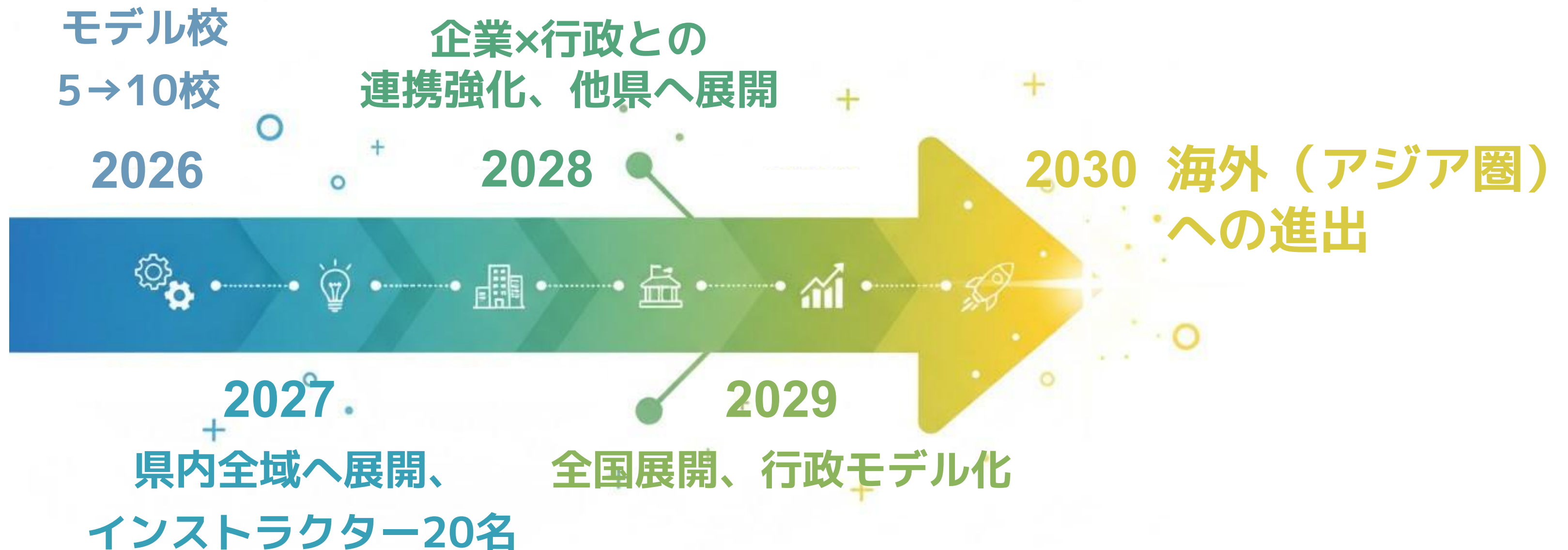
年間: 80～120万円

法人契約(スポンサー)

年間: 30～50万円

10 ロードマップ（2026～2030）

5年で「茨城県発 全国モデル」へ拡大する計画



11 ビジョン・クロージング

茨城から世界へ

遊びが未来をつくる。

体軸 × 運動 × 地域資源を一体化
した教育健康の新基準をつくり、

世界中の子どもたちの“生きる力”
を取り戻します。

ご清聴ありがとうございました。